

市バス・地下鉄を守るためのアクションプログラムの進ちょく状況について

1 策定の趣旨

本市では、「地下鉄・市バス合計のお客様1日当たり80万人」の目標達成に向け、各局区等が課題意識を共有し、全庁体制での増客策を推進していくため、平成29年6月に「京都市地下鉄・市バスお客様1日80万人推進本部」を設置するとともに、同年11月には、各局区等の具体的な増客策を取りまとめた「地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けたアクションプログラム」を策定し、増客に向けた取組を全庁体制で推進してきました。

しかしながら、令和2年2月以降続くコロナの影響により、公共交通の利用促進や各種イベント等の実施が難しい状況にあることを踏まえ、この間、推進本部会議の開催を見送っていました。

しかしながら、コロナ禍において経営難にある市バス・地下鉄が、市民の生活の足としての役割を果たし、本市の都市活動を支え続けるためには、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、今一度、全庁体制で増客に取り組んでいくことが不可欠です。

こうした認識の下、本市の都市活動を支える基幹インフラである市バス・地下鉄を将来にわたり守り続けていくという強い決意を示すため、令和4年8月に、会議名称を「市バス・地下鉄を守るための利用促進本部」に、プログラムの名称を「市バス・地下鉄を守るためのアクションプログラム」に改めたうえで、各局区等がそれぞれの所管において、既成の概念や価値観にとらわれることなく、大胆かつ柔軟な発想を持って、あらゆる事業を市バス・地下鉄の一層の利用促進に繋げてまいります。

2 重点方針

次の3点を重点方針として掲げ、市バス・地下鉄のネットワークをいかした取組を進めてまいります。

- ① 地下鉄・市バスのネットワークを核としたまちづくりの推進
- ② 観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進
- ③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進

3 期間

平成29年度から令和10年度まで

4 事業の進ちょく状況（令和4年10月末現在）

令和元年12月の第2回会議開催時点での事業数は420件で、今回新たに26件を追加し、総件数は**446件**となります。

事業の進ちょく状況は次のとおりです。

- ① 事業を完了したもの・・・・・・・・・・121件（27.1%）
- ② 継続して取り組んでいるもの・・・・・・・・291件（65.2%）
- ③ 実施に向けて検討しているもの・・・・・・・・6件（1.3%）
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響により
一時休止しているもの・・・・・・・・28件（6.3%）

総件数・・・・・・・・・・446件

（うち着手済（①+②+④）・・・・・・・・440件（98.7%））

※ 今回新たにプログラムに加える事業（26件）…p3～5

5 重点項目の整理

令和元年12月の第2回会議開催時点で、2の各重点方針にそれぞれ掲げていた重点項目について、事業完了及びコロナの影響により一時休止している事業10件を除き、利用者の増加に資すると見込まれる事業10件を追加し、総件数は43件となります。

※ 重点項目（43件）…p6～15

※ 交通局の重点取組（※再掲）（13件）…p16～18

※ 今回重点項目から削除する事業（10件）…p19～20

※ プログラム総件数（446件）の類型別内訳…p21～22

○今回新たにプログラムに加える事業（26件）

① 地下鉄・市バスのネットワークを核としたまちづくりの推進（3件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要
15	文化市民局	京都市交通局地下鉄構内における安心安全対策事業	地下鉄各線の駅構内（ホーム階、コンコース階、改札）に「防犯カメラ安心安全見守り中」と記載された表示プレートを新たに作成・掲示し、犯罪企図者への抑止力向上と地下鉄利用客の安心感の醸成を図る。
37	建設局	「公民連携 公園利活用トライアル事業」(おそとチャレンジ)	民間企業等に対して公園の柔軟な利活用を試行的に認め、地域・企業・行政で継続的に対話を行いながら、それぞれの公園の理想像を探る取組。ＢＢＱやアート展示など、普段の公園では体験できない多彩な事業を実施。
42	深草	伏見深草バーチャルウォーカー	深草周辺地域の奥深い歴史や文化、豊かな自然等をバーチャルで身近に体感してもらい、地元や近郊をはじめ域外の方々にもゆったりと散策していただくために、深草の名所や見どころを美しいＶＲ映像で紹介するホームページを開設。市バス・地下鉄の利用を促進するためルートを表示し、時刻表にもリンク。

② 観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進（14件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要
43	文化市民局	スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームによる取組（令和4年2月～）	各局と主にプロスポーツチームが連携した取組やイベントを実施することにより、市民スポーツの振興とともに地域の活性化につなげる。
65	産業観光局 交通局	J R東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンとの連携	J R東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンにおいて臨時バスを運行する。
66	産業観光局	交通局と連携した事業PR	交通局と連携した事業PRを行う（サイネージ掲出など）。
69	産業観光局	京ベジ FESTA	都市農業の価値やほんまもん京野菜の魅力を中心に、京都市民の暮らしの中にある京都市の農業を発信する。 ※主催：JA 京都市、共催：京都市
94	保健福祉局	熱中症予防講演会	熱中症が起こる仕組み、応急処置、予防方法等についての知識を普及啓発する。 ※京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）と共催で開催。
105	子ども若者はぐくみ局	「コロナ禍でも元気いっぱい！笑顔いっぱい！」絵画展	「コロナ禍でも元気いっぱい！笑顔いっぱい！」をテーマとし、児童館や保育園等の子どもたちが制作した絵画を、京都市営地下鉄烏丸御池駅構内に展示。
111	北区	船岡山を活かした魅力スポットの創出	ポスター・チラシに地下鉄・市バスの案内を表示する。また、地下鉄の駅でポスター掲示・チラシ配架を行う。

番号	担当局区等	事業名	事業概要
125	東山区	各種イベントへの市バス利用促進	東山区役所が実施する各種イベントのチラシ等に市バスを区役所・イベント会場へのアクセス方法としてを記載し、利用促進を図る。
146	右京区	右京区民文化交流会（右京区民ふれあい事業）	音楽、舞踊、伝統芸能等、日頃の文化活動の成果を発表する場を提供するとともに、文化を通じて区民の皆様の交流をさらに深めることを目的に実施する。
153	西京区	「路線バスで巡る西京の魅力」における市バス等公共交通の利用促進	「路線バスで巡る西京の魅力」の取組において、西京の魅力あるスポットに公共交通機関を利用して訪問することで、市バス等公共交通の利用促進を図る。
194	文化市民局 交通局	各局等と連携した取組の推進	各局等のイベント等と連携し、各種乗車券の販売等を実施することで利用促進につなげる。
202	交通局 上下水道局	周年事業	令和4年度に公営交通事業と水道事業が110周年を迎えることを記念し、地下鉄の駅や琵琶湖疏水記念館等、両事業にゆかりのあるポイントを巡るキーワードラリーを開催。イベントの告知の際には、市バス・地下鉄の利用をPRする。
216	上下水道局	京（みやこ）の水・おふろキャラバン	水需要の喚起の取組として、お風呂の魅力や効能を情報発信し、心身の健康にもつながる入浴に親しんでいただくことを目的に、市内各所でイベントやワークショップの開催等を行う。 イベントの告知の際には、市バス・地下鉄の利用をPRする。
219	教育委員会	国際博物館会議（ICOM）京都大会レガシー継承事業の実施	令和元年9月に日本初となる「国際博物館会議（ICOM）」の世界大会が京都で開催され、その大会テーマに込められた理念をレガシーとして引き継ぎ、大会開催を契機に高まった博物館・文化芸術の振興の機運を一層盛り上げるため、博物館の魅力を発信する事業を展開する。 【実施予定事業】 ・京都の匠と国内外で活躍するデザイナーとが協働し制作した作品を展示した「nendo×京都の匠」展の開催 ・大河ドラマ「麒麟がくる」の出演者によるトークショーとデジタルスタンプラリー ・夏のミュージアムイベントを紹介したリーフレットの発行

③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進（９件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要
62	東山区	市バス利用の啓発	庁舎１階に市バスの時刻表を掲示し来庁者の利用を促進している。
119	交通	ホームページ等における経営状況等の「見える化」の発信	経営ビジョン【改訂版】を着実に実施し、市民の皆様やお客様の御理解を得ながら、持続可能な事業運営を進めていくため、ホームページやSNS等において、マンガやイラストを用い、視覚的にも伝わりやすく訴求性の高い情報発信を行う。
130	交通局	民間交通事業者と連携した各種乗車券の販売促進	民間鉄道事業者と連携し、観光シーズンにおいて、民間鉄道駅のコンコース等で各種乗車券を販売する。
133	交通局	ICカードによるポイントサービスの導入	市バスの一人当たり乗車運賃が他都市に比べて低いこと、御利用の頻度にかかわらず全国１０種類のICカードで乗継割引を適用していること、移動経路の分散化が必要であること等の諸課題に対応するために実施している各種割引乗車券の抜本的な見直しの取組みの一つとして、市民の方を中心とした御利用頻度の高い方を優遇する制度である、市民利用の多いICOCA、PiTaPaを対象としたポイントサービスを導入する。
157	交通局	烏丸線新型車両への車内防犯カメラの設置	車内におけるセキュリティ向上のため、烏丸線新型車両への車内防犯カメラを設置する。
158	交通局	烏丸線北大路駅への可動式ホーム柵の設置	烏丸線で４駅目となる可動式ホーム柵を北大路駅へ設置する。
164	上下水道局	デザインマンホールマップ	京都市内各所に設置しているデザインマンホールの図柄・設置場所・交通アクセスのほか、下水道の役割などについて紹介するマップを作成。最寄りの地下鉄駅・バス停からの距離と所要時間を記載している。
167	上下水道局	南部拠点整備事業	京都市上下水道局総合庁舎の開庁に伴い、本庁舎・事業所を移転したことで、地下鉄・市バスの利用促進を図る。
168	上下水道局	総合庁舎への来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	総合庁舎１階エントランスに公共交通機関の時刻表を掲示することで、来庁者の利便性向上と利用促進を図る。

○重点項目（４３件） ※ 網掛箇所：新規項目

① 地下鉄・市バスのネットワークを核としたまちづくりの推進（１５件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
2	総合企画局	国立京都国際会館・多目的ホールへの京都らしい設え実施と拡充整備の促進	多目的ホール（2,500人規模）の平成30年度の供用開始を踏まえ、国において整備が進められている5,000人規模への更なる拡充整備を早期に実現するため、国に対し積極的に要望する。また、多目的ホールの顔ともいえるロビー等に京都らしい設えを施すことにより、日本文化を発信する。	5,000人規模への多目的ホール拡充の取組の推進 ・国家予算等に関する要望・提案の実施（6月） （国） ・多目的ホール設計業務完了予定（3月）
3	総合企画局	山ノ内浄水場の跡地活用	「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき、山ノ内浄水場跡地に大学を中核とする複合的な用途の施設を誘導し、本市西部地域はもとより市全体の活性化や地下鉄・市バスの増客に資する活用を図るための取組を推進する。	・取組の推進 （北側） ・太秦病院の第2期事業（約200人／日）及び大和学園太秦キャンパスの第2期事業（計約2,100人）について協議・調整
5	総合企画局	府市協調による地下鉄北山駅周辺地域の活性化	府、市をはじめ、官・民・地域で構成する「北山文化環境ゾーン交流連携会議」を中心に、地下鉄北山駅周辺地域の活性化を図る。	・イベントの実施や情報発信の充実 ・北山エリア交流連携会議において、「北山月間イベントスタンプラリー2022」を開催（11/3～12/4） ・地下鉄北山駅周辺地域の活性化に関する庁内会議開催（予定）
6	総合企画局	伝統産業、伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、商店街など、多彩な資源を有する西陣を中心とした地域の活性化	西陣エリアを中心とした地域の財産や魅力を活用し、個性豊かで魅力的なまちづくりを推進するために、地域と連携して、西陣織を中心とした伝統産業、伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、商店街、観光スポットなど、多彩な歴史・文化・観光資源を活かした活性化策を検討・実施する。	・活性化ビジョンの推進 ・ポータルサイト「にしZINE」やSNS等による情報発信 ・民間主体の活性化プロジェクト（「NISHIJIN+」、「西陣ネイバーフッド」）の取組を展開

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
7	総合企画局	京都駅西部エリアの活性化	平成 26 年度策定の「京都駅西部エリア活性化将来構想」に基づき、梅小路公園をはじめ、多彩な地域資源が集積する京都駅西部エリアの活性化を推進する。エリア内の施設・団体、事業者等、多様な地域主体との連携のもと、様々な媒体による地域の魅力情報の発信や回遊性向上に資する取組、新たな集客につながるイベント等を実施し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	・取組の推進 ・京都駅西部エリアで賑わいを創出するイベント等を行う各団体の活動に対し、本市が事務局を務める「京都駅西部エリアまちづくり協議会」が支援（事業費の補助等） ・同協議会によるイベントの共催（予定） ・ホームページ「下京地域情報サイト」によるエリアの魅力情報の発信
8	総合企画局	京都駅東南部エリア活性化の推進	平成 28 年度に策定した「京都駅東南部エリア活性化方針」に基づき、地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家などと協働し、「文化芸術」という新たな視点をまちづくりに取り入れるとともに、「若者」を中心とした新たな人の流れを生み出し、さらに京都駅周辺地域の活性化の動きを連動させることで、「文化芸術」と「若者」を機軸としたまちづくりを進め、地下鉄・市バスの利用促進にもつなげていく。	・取組の推進 ・チームラボによるデジタルアートミュージアム等のアート複合施設設置のための土地貸付契約を、京都駅東南部エリアプロジェクト有限責任事業組合との間で締結（令和 6 年度中に開業予定）
10	総合企画局	京都駅東部エリア活性化の推進	平成 30 年度に策定した「京都駅東部エリア活性化将来構想」に基づき、地域や大学、施設、事業者など多様な主体の参画のもと、当該エリアの文化芸術資源等を活用した事業等を通じて、活性化の機運を高め、連携・共同の基盤づくりに取り組むことにより「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生に向けたまちづくりを進め、地下鉄・市バスの利用促進にもつなげていく。	・取組の推進 ・京都芸大移転予定地の周辺エリアで活躍する事業者やアーティストに係る特集記事、地域・イベント情報を盛り込んだ広報誌「5T09」を地域に向けて発信（年 3 回発行予定）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
20	都市計画局	持続可能な都市構造の実現を目指した土地利用の展開	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている持続可能な都市構造を実現するため、鉄道駅などの公共交通の拠点を中心に、多様な都市機能の集積や建物の更新、機能的な都市環境の確保を目的として、用途地域等の見直しを行う。	・都市計画マスタープランの推進及び見直しを踏まえた用途地域等の見直しに向けた検討を行う。 ・持続可能な都市構造の実現に向け、用途地域等の都市計画の見直しを行う。
21	都市計画局	空き家対策推進事業	「空き家等対策の推進に関する特別措置法」及び「京都市空き家等の活用、適正管理等に関する条例」に基づき、「空き家の発生の予防」、「活用・流通の促進」、「適正な管理」、「跡地の活用」といった総合的な空き家対策を推進する。	・リーフレット等による啓発の実施 ・総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域主体の空き家対策に取り組んでいる地域の拡大 ・活用促進制度の実施 ・適正な管理の推進による活用への誘導
23	都市計画局	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	「歩くまち・京都」総合交通戦略を推進するため、全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部及び関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成する「歩くまち・京都」推進会議を開催。	・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催
24	都市計画局	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区（四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地区）を中心とした「まちなか」において、安心・安全で快適な歩行空間の確保と賑わいの創出などにより、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちなかづくり」を推進する。	・違法駐停車車両防止のための取組 ・観光シーズンにおいて、四条通を含む市内への車両流入抑制のため、公共交通の利用促進策の実施 ・「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議及び四条通エリアマネジメント会議の開催
25	都市計画局	三条京阪駅周辺地域のまちづくり	都市計画マスタープランにおいて、商業・業務機能の立地誘導、多様な都市機能の集積を図る地域として位置付けている三条京阪駅周辺について、地下鉄をはじめ交通至便な立地環境にある地域のポテンシャルを最大限に生かした土地活用となるよう、三条鴨東地区の改良事業計画の見直しも含め、魅力あるまちづくりを進める。	・住宅地区改良事業計画に基づき、買収交渉・将来的な土地活用の方向性についての検討

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
28	都市計画局	崇仁地域のまちづくり	「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告書を踏まえ、住宅地区改訂事業を早期完了させるため、土地区画整理事業との合併施行を推進するとともに、「創造・交流・賑わいのまち」の実現に向けた、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学などの多様な主体の参画によるまちづくりを推進する。	【土地区画整理事業】 ・仮換地指定 ・取組の推進 【住宅地区改訂事業・移転整備・建替】 ・用地買収（17戸） ・崇仁南部団地再生計画に基づく更新棟移転（店舗） ・崇仁南部既存等解体設計
38	左京区	岡崎地域活性化ビジョンの推進	平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」に掲げる将来像の1つである「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」づくりに向け、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくり、エリア全体での情報発信など、地下鉄・市バスの利用促進につながる賑わい創出に取り組む。	・地域連携型魅力創出事業の実施 ・総合的な案内・情報発信の実施（総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用や総合情報パンフレット「岡崎手帖」の発行を通じた総合案内・情報発信を実施） （10月末時点） ・地域連携型魅力創出事業の実施 ・総合的な案内・情報発信の実施（総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用や総合情報パンフレット「岡崎手帖」の発行を通じた総合案内・情報発信を実施）
43	交通局	京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンの実施	今後も将来にわたり、市民の足としての役割をしっかりと果たしていくために策定した中長期的な経営計画「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン【改訂版】」に基づく取組を推進するもの。	・取組の推進 ・市民の皆様・お客様への情報発信の強化として経営状況等の見える化を推進

② 観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進（１６件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
14	総合企画局	各種イベントにおける地下鉄・市バス利用の促進	各種イベントの開催に当たり、会場をできる限り地下鉄・市バス沿線に設定するとともに、広報資料やチラシ等で地下鉄・市バスでの来場を呼び掛けるなど、参加者の地下鉄・市バス利用を促進する。	・「ニューイ・ブランシュ KYOTO」の開催 開催日：10/1（土） 場所：京都駅ビル駅前広場、アンスティチュ・フランセ関西、京都芸術センター、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、ヴィラ九条山、ロームシアター京都他、市内各所 ・「オープンデイ 2022・京都市平和記」 開催日：11/3（木・祝） 場所：京都市国際交流会館
27	文化市民局	美術館における展覧会の開催	展覧会を開催するとともに、市バス・地下鉄を利用した交通案内を実施し、その利用促進を図る（広報用チラシ、ポスター掲示等）。	【ポスター掲示（構内）・チラシ配架】 ・トリエンナーレ（3,728人） 【京都駅立て看板・ポスター掲示（構内・車内）】 ・ポンペイ展（130,369人） ・アベンジャーズ展（60,401人） ・綺羅めく京の明治美術（18,252人） ・サンリオ展 ・ボテロ展 ・跳躍するつくり手たち展（予定） ・トリエンナーレ（3,728人）
30	文化市民局	元離宮二条城におけるイベントの開催及びアクセス紹介	元離宮二条城において、魅力あるイベントを開催するとともに、市民しんぶん等において、市バス・地下鉄を利用した来城方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。 また、元離宮二条城出口に市営地下鉄二条城前駅への進路案内板を常時設置しており、引き続き地下鉄の利用促進に努める。	・「二条城障壁画 展示収蔵館」展（4回を順次実施中。） ・二条城夏まつり（7/22～8/21） 44,095人 ※夜間のみ ・二条城まつり（10/28～12/4） ・二条城桜まつり （3月下旬～4月中旬＜令和5年度＞） ※まつり事業については、チラシとポスターを作成し、公共交通機関の利用を呼び掛けた。

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
42	文化市民局	プロスポーツや全国規模のスポーツイベントの開催及び誘致促進、スポーツツーリズムの推進	京都サンガ F.C. や京都ハンナリーズをはじめとするプロスポーツの試合や全国規模のスポーツイベントの開催及び誘致に取り組むとともに、併せてスポーツツーリズムを推進することで、地下鉄・市バスの利用客増につなげる。	・市民しんぶんで各種試合情報を発信 ・広報誌「ダッシュ」で公共交通機関の利用呼びかけ ・市公式ツイッターで試合情報と併せて観光情報を発信（観光 MICE、市観光協会と連携・協力）
45	文化市民局	京都マラソンの開催	市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。	・事業の実施
54	産業観光局	「伝統産業の日」関連事業	年間を通じて「伝統産業の日」関連事業を PR していくことで、個々の事業の来場者増、公共交通機関の利用者増につなげる。	・関連事業の実施及び PR（集中期間：2～3 月）
55	産業観光局	KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience)	京都が持つ、マンガ・アニメ、映画・映像、ゲーム等のコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、これらのコンテンツ産業を支える人材育成・人材交流を図ることを目的としたイベントを実施する。	・「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催 ・開催期間：9 月 17 日～18 日
60	産業観光局	岡崎さくら回廊十石舟めぐり	桜が美しい岡崎・琵琶湖疏水において、遊覧船を運航。 チラシを作成し、公共交通機関の利用を呼び掛けている。	・事業の実施 ・3/19～4/10
61	産業観光局	鉄道事業者との連携による「京の冬の旅」、「京の夏の旅」の実施	「京の冬の旅」、「京の夏の旅」と連携した観光 PR 事業を実施する。	・事業の実施 ・第 47 回 京の夏の旅 106,447 人（文化財特別公開） ・第 57 回 京の冬の旅 実施（予定）
64	産業観光局	「手ぶら」観光の推進	「手ぶら」観光を周知し、市民と観光客の満足度向上につなげる。	・事業の実施 ・動画、HP の公開による手ぶら観光の周知
65	産業観光局 交通局	J R 東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンとの連携	J R 東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンにおいて臨時バスを運行する。	・事業の実施 ・二条駅西口～高雄・梅ノ尾の臨時バスを運行

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
187	交通局	周年イベントの実施	地下鉄や市バスの開業や延伸等の節目において記念イベントを実施することにより、地下鉄・市バスの増客や沿線地域の活性化につなげる。	・ 公営企業 110 周年 ・ 「京都市公営交通 110 周年」ロゴマーク及びキャッチフレーズの製作・活用 ・ ロゴマークとキャッチフレーズを活用したヘッドマーク・つり革ラッピング及び記念うちわを製作し、バスまつり等イベントにて配布 ・ ロゴマークを活用した「京都市公営交通 110 周年記念ピンバッジ」の製作・販売 ・ 京都市電プラモデルの製作・販売 ・ 「京都市公営交通 110 周年記念交通局ポップアップストア」を今出川駅にて出店し、110 周年記念グッズ等を販売 ・ 広告キャンペーンの実施 ・ 広報媒体（おふたいむ、マンスリーラインなど）を活用した PR ・ キーワードラリーの開催（8/4～9/4 参加者数：354 人）
193	交通局	区役所・支所等と連携した取組の推進	区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。また、各局区等のイベントにブース出展することにより、地下鉄・市バスの利用を促進する。	・ 区役所ふれあいまつり等イベントへの出展 5 月 右京ブロック児童館まつり 9 月 西京ひろば 10 月 みそのばしフェスティバル - 計 3 件
194	文化市民局 交通局	各局等と連携した取組の推進	各局等のイベント等と連携し、各種乗車券の販売等を実施することで利用促進につなげる。	・ 取組の推進 【文化市民局と連携】 ・ 京都モダン建築祭におけるパスポート及び地下鉄 1 日券セット券等の販売（9/1～11/13）
213	上下水道局	「びわ湖疏水船」事業	琵琶湖疏水における舟運を約 70 年ぶりに復活させた「びわ湖疏水船」の運航により、沿線の岡崎・山科・大津地域の活性化に寄与する。乗下船場を大津・山科・蹴上に設置し、市バス・地下鉄を含めた公共交通機関の利用を PR する。	・ 本格運航の継続 ・ 春季運航の実施（R4. 3. 26～6. 12） 7,168 名乗船 ・ 春季親子乗船会を実施（6 月） ・ 秋季親子乗船会を実施（10 月）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
216	上下水道局	琵琶湖疏水記念館事業	琵琶湖疏水記念館事業として、飲食イベント、特別展、連続講座などのイベントを実施する。 イベント告知の際に地下鉄・市バスを利用するよう周知する。	・飲食イベント、特別展の実施 ・特別展 2 回 ・KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 1 回 5,196 名来場

③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進（１２件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
12	文化市民局	ロームシアター京都事業	当シアターにおいて、イベント周知用のポスター、チラシ等において、アクセス方法として、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	・取組の推進
20	産業観光局	「修学旅行1day チケット」のPRと発売	修学旅行生の誘致と市バス・地下鉄の新規旅客獲得を一体的に行うために、優待施設で特典を受けられる「修学旅行パスポート」と同様の機能を持つ「修学旅行1day チケット」の販売促進に向けたPRを行う。	・販売促進のPR ・販売実績（令和４年１０月末時点） ●通常版 964校 125,676枚 ●京阪電車拡大版 243校 25,120枚
44	北区	柊野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「柊野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。	・取組の継続
108	伏見区	久我・久我の杜・羽東師地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策（モビリティ・マネジメント）を、久我・久我の杜・羽東師地域において実施する。	・「久我・久我の杜・羽東師地域まちづくり協議会」と伏見区役所、交通局が発行する「久我・久我の杜・羽東師 MM ニュース」（年２回発行）に市バス利用促進記事・時刻表を掲載し、地域に回覧する。 ・市バスダイヤ改正時に、交通局から提供されたデータをもとに、久我・久我の杜・羽東師地域及びターミナルの各バス停時刻表を作成し、神川出張所待合ロビーに配架する。

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
119	交通局	ホームページ等における経営状況等の「見える化」の発信	経営ビジョン【改訂版】を着実に実施し、市民の皆様やお客様の御理解を得ながら、持続可能な事業運営を進めていくため、ホームページやSNS等において、マンガやイラストを用い、視覚的にも伝わりやすく訴求性の高い情報発信を行う。	・取組の推進 ・交通局 HP のトップページにマンガやイラストを用いたアイキャッチ画像を設置 ・アイキャッチからのリンク先として「見える化」の特設ページを設置 (令和4年10月末時点で第5弾までの情報発信を実施)
122	交通局	海外からのお客様へのサービス向上	急増する外国人観光客が、市バス・地下鉄を御利用される際の利便性を向上させるため、コミュニケーションツールや観光マップの充実等に取り組む。	・烏丸線各駅の行先案内表示器の更新に伴い、列車案内表示を4か国語(日・英・中・韓)表記にする(令和5年度末までに順次更新予定) ・烏丸線九条駅のホーム階行先案内表示器を更新、改札階に案内表示器を新設。 (令和5年度末までに順次更新予定)
134	交通局	ICカードによるポイントサービスの導入	市バスの一人当たり乗車運賃が他都市に比べて低いこと、御利用の頻度にかかわらず全国10種類のICカードで乗継割引を適用していること、移動経路の分散化が必要であること等の諸課題に対応するために実施している各種割引乗車券の抜本的な見直しの取組みの一つとして、市民の方を中心とした御利用頻度の高い方を優遇する制度である、市民利用の多いICOCA、PiTaPaを対象としたポイントサービスを導入する。	・ICカードによるポイントサービスの導入に向けたシステム構築
139	交通局	「地下鉄・バス1日券」を使った快適・便利な観光ルート等のPR	「地下鉄・バス1日券」により、お得・快適・便利に移動していただけよう、関係部局等と連携し、地下鉄と市バスを組み合わせ観光ルートや手ぶら観光等をPRする。	・観光ガイドブックとコラボした「地下鉄・バス1日券」でめぐる京都観光モデルコースを掲載したリーフレットの作成、配布 ・京阪電気鉄道と連携した市バス・地下鉄や京阪電車を組み合わせた移動及び「地下鉄・バス1日券」の利用を促進するリーフレットの作成及び駅等での配架(4、10月)

番号	担当局区等	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
140	交通局	関西国際空港等からの観光客に対する手ぶら観光のPR	JR 西日本をはじめとした民間事業者との連携により、関西国際空港や大阪国際空港から入洛される観光客に対し、キャリーバッグ等を配送する手ぶら観光カウンターや地下鉄も上手に利用した観光を案内するチラシ等を作成し、手ぶら観光をPRする。	・取組の推進 ・PRリーフレット作成（予定）
141	交通局	チーム「電車・バスに乗るっ」との連携事業	まちづくりの重要な担い手である民間事業者の皆様とともに、民間と行政の共汗（協働）で公共交通を活用した取組を企画・立案し、実践する「チーム『電車・バスに乗るっ』」と連携し、地下鉄・市バスの利用促進に資する事業を展開する。	・各団体との調整により、連携事業を実施 ・まちなかハロウィン（10月） ・KARASUMA 大茶会（10、11月） ・京阪電気鉄道と連携した市バス・地下鉄や京阪電車を組み合わせた移動及び「地下鉄・バス1日券」の利用を促進するリーフレットの作成及び駅等での配架（4、10月）
142	交通局	市バス路線・ダイヤの見直し	市バスを将来にわたって安定的に運営していくため、お客様の御利用状況や環境の変化を踏まえた、より一層効率的な路線・ダイヤへの見直しを図る。	今後の路線・ダイヤ編成に当たっての基本方針について検討（「京都市バス路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会」の開催）
157	交通局	烏丸線への新型車両の導入	烏丸線開業時（昭和56年）に導入し、更新時期を迎える車両（全20編成のうち9編成）について、将来に渡って安心・快適に御利用いただける新型車両への更新に向けた取組を進める。車両には、車椅子やベビーカーを御利用のお客様のみならず、介添えの方や大きな荷物をお持ちのお客様にも安心・快適に御利用いただける「おもいやりエリア」を両端車両に設置するほか、京都の伝統産業を活用することで、業界の振興に繋げるとともに新型車両の魅力を発信する。	・2編成導入予定 ・烏丸線新型車両1編成導入（R4.10末時点） ・京都の伝統産業組合・事業者の御協力により、局章・標記銘板・釘隠し・吊手への京都の伝統産業素材・技法を活用したほか、第2編成のおもいやりエリアには京仏具及び京焼・清水焼を飾り付けのうえ、京都ならではの地下鉄としてPRした。 ・2022年度グッドデザイン賞受賞（おもいやりエリアの設置と伝統産業による市民参加を評価）

交通局の重点取組（※再掲）（１３件）

①地下鉄・市バスのネットワークを核としたまちづくりの推進（１件）

番号	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
43	京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンの実施	今後も将来にわたり、市民の足としての役割をしっかりと果たしていくために策定した中長期的な経営計画「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン【改訂版】」に基づく取組を推進するもの。	・取組の推進 ・市民の皆様・お客様への情報発信の強化として経営状況等の見える化を推進

②観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進（４件）

番号	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
65	J R 東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンとの連携	J R 東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンにおいて臨時バスを運行する。	・事業の実施 ・二条駅西口～高雄・梅ノ尾の臨時バスを運行
187	周年イベントの実施	地下鉄や市バスの開業や延伸等の節目において記念イベントを実施することにより、地下鉄・市バスの増客や沿線地域の活性化につなげる。	・「京都市公営交通１１０周年」ロゴマーク及びキャッチフレーズの製作・活用 ・ロゴマークとキャッチフレーズを活用したヘッドマーク・つり革ラッピング及び記念うちわ製作し、バスまつり等イベントにて配布 ・ロゴマークを活用した「京都市公営交通１１０周年記念ピンバッジ」の製作・販売 ・京都市電プラモデルの製作・販売 ・「京都市公営交通１１０周年記念 交通局ポップアップストア」を今出川駅にて出店し、１１０周年記念グッズ等を販売 ・広告キャンペーンの実施 ・広報媒体（おふたいむ、マンスリーラインなど）を活用したPR
193	区役所・支所等と連携した取組の推進	区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。また、各局区等のイベントにブース出展することにより、地下鉄・市バスの利用を促進する。	・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展 5月右京ブロック児童館まつり 9月西京ひろば 10月みそのばしフェスティバル - 計３件

番号	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
194	各局等と連携した取組の推進	各局等のイベント等と連携し、各種乗車券の販売等を実施することで利用促進につなげる。	・取組の推進 【文化市民局と連携】 ・京都モダン建築祭におけるパスポート及び地下鉄 1 日券セット券等の販売（9/1～11/13）

③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進（８件）

番号	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
119	ホームページ等における経営状況等の「見える化」の発信	経営ビジョン【改訂版】を着実に実施し、市民の皆様やお客様の御理解を得ながら、持続可能な事業運営を進めていくため、ホームページやSNS等において、マンガやイラストを用い、視覚的にも伝わりやすく訴求性の高い情報発信を行う。	・取組の推進 ・交通局 HP のトップページにマンガやイラストを用いたアイキャッチ画像を設置 ・アイキャッチからのリンク先として「見える化」の特設ページを設置 (令和４年１０月末時点で第５弾までの情報発信を実施)
122	海外からのお客様へのサービス向上	急増する外国人観光客が、市バス・地下鉄を御利用される際の利便性を向上させるため、コミュニケーションツールや観光マップの充実等に取り組む。	・烏丸線各駅の行先案内表示器の更新に伴い、列車案内表示を４か国語（日・英・中・韓）表記にする（令和５年度末までに順次更新予定） ・烏丸線九条駅のホーム階行先案内表示器を更新、改札階に案内表示器を新設。（令和５年度末までに順次更新予定）
134	IC カードによるポイントサービスの導入	市バスの一人当たり乗車運賃が他都市に比べて低いこと、御利用の頻度にかかわらず全国１０種類の IC カードで乗継割引を適用していること、移動経路の分散化が必要であること等の諸課題に対応するために実施している各種割引乗車券の抜本的な見直しの取組みの一つとして、市民の方を中心とした御利用頻度の高い方を優遇する制度である、市民利用の多い ICOCA、PiTaPa を対象としたポイントサービスを導入する。	・IC カードによるポイントサービスの導入に向けたシステム構築
139	「地下鉄・バス１日券」を使った快適・便利な観光ルート等のPR	「地下鉄・バス１日券」により、お得・快適・便利に移動していただけるよう、関係部局等と連携し、地下鉄と市バスを組み合わせ観光ルートや手ぶら観光等をPRする。	・観光ガイドブックとコラボした「地下鉄・バス１日券」でめぐる京都観光モデルコースを掲載したリーフレットの作成、配布 ・京阪電気鉄道と連携した市バス・地下鉄や京阪電車を組み合わせた移動及び「地下鉄・バス１日券」の利用を促進するリーフレットの作成及び駅等での配架（４、１０月）

番号	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
140	関西国際空港等からの観光客に対する手ぶら観光のPR	JR 西日本をはじめとした民間事業者との連携により、関西国際空港や大阪国際空港から入浴される観光客に対し、キャリーバッグ等を配送する手ぶら観光カウンターや地下鉄も上手に利用した観光を案内するチラシ等を作成し、手ぶら観光をPRする。	・取組の推進 ・PRリーフレット作成（予定）
141	チーム「電車・バスに乗るっ」との連携事業	まちづくりの重要な担い手である民間事業者の皆様とともに、民間と行政の共汗（協働）で公共交通を活用した取組を企画・立案し、実践する「チーム『電車・バスに乗るっ』」と連携し、地下鉄・市バスの利用促進に資する事業を展開する。	・各団体との調整により、連携事業を実施 ・まちなかハロウィン（10月） ・KARASUMA 大茶会（10、11月） ・京阪電気鉄道と連携した市バス・地下鉄や京阪電車を組み合わせた移動及び「地下鉄・バス1日券」の利用を促進するリーフレットの作成及び駅等での配架（4、10月）
142	市バス路線・ダイヤの見直し	市バスを将来にわたって安定的に運営していくため、お客様の御利用状況や環境の変化を踏まえた、より一層効率的な路線・ダイヤへの見直しを図る。	今後の路線・ダイヤ編成に当たっての基本方針について検討（「京都市バス路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会」の開催）
157	烏丸線への新型車両の導入	烏丸線開業時（昭和56年）に導入し、更新時期を迎える車両（全20編成のうち9編成）について、将来に渡って安心・快適に御利用いただける新型車両への更新に向けた取組を進める。車両には、車椅子やベビーカーを御利用のお客様のみならず、介添えの方や大きな荷物をお持ちのお客様にも安心・快適に御利用いただける「おもいやりエリア」を両端車両に設置するほか、京都の伝統産業を活用することで、業界の振興に繋げるとともに新型車両の魅力を発信する。	・2編成導入予定 ・烏丸線新型車両1編成導入（R4.10末時点） ・京都の伝統産業組合・事業者の御協力により、局章・標記銘板・釘隠し・吊手への京都の伝統産業素材・技法を活用したほか、第2編成のおもいやりエリアには京仏具及び京焼・清水焼を飾り付けのうえ、京都ならではの地下鉄としてPRした。 ・2022年度グッドデザイン賞受賞（おもいやりエリアの設置と伝統産業による市民参加を評価）

○今回重点項目から削除する事業（１０件）

② 観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進（８件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	削除理由
23	文化市民局	京都文化力プロジェクト 2016 - 2020	京都ゆかりの文化人の呼び掛けにより、2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催に合わせて、オール京都で文化の祭典を開催する。	事業完了のため
58	産業観光局	東山花灯路	東山地域の寺院・神社をはじめとする歴史的文化遺産、白壁や石畳、門前町などのまち並みを生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、春の訪れを魅力的に表現する。	事業完了のため
59	産業観光局	嵐山花灯路	嵯峨・嵐山地域の自然、水辺空間、竹林や歴史的文化遺産、景観など地理的諸条件を生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、初冬の季節感を魅力的に表現する。	事業完了のため
71	産業観光局	「第４回UNWTO世界観光機関/ユネスコ観光と文化をテーマとした国際会議」の開催	本会議は、観光と文化の大臣をはじめとする各国の関係者が集結し、貧困を緩和し、雇用を創出し、自然と文化遺産を保護するために観光と文化の力をいかに活用するかを議論する唯一の場である。	事業完了のため
78	保健福祉局	健康長寿のまち・京都市いきいきフェスタ	市民全体で健康づくりの機運を高めていくため、「健康長寿のまち・京都市民会議」との共催により、「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた取組のイベントを開催する。	新型コロナの影響により休止しているため
138	山科区役所	天皇陛下御即位記念「山科区版非公開文化財等の特別公開」	これまで非公開であった安祥寺をはじめ、毘沙門堂、勧修寺、随心院、本圀寺等の皇室ゆかりの寺院等と連携し、秋の紅葉シーズンに山科区だけの非公開文化財の特別公開を実施	事業完了のため
158	洛西支所	市バスで巡る小さな旅 in 洛西	今年２月に史跡に追加指定された「芝古墳」をはじめ、洛西地域の観光スポットを市バスで巡り、自然や歴史文化の魅力を感じていただく。また、洛西地域の市バスの利便性を知っていただき、公共交通の利用促進にもつなげていく。	事業完了のため

番号	担当局区等	事業名	事業概要	削除理由
219	教育委員会	国際博物館会議（ＩＣＯＭ）京都大会の開催及び開催記念イベントの実施	〃平成 31 年 9 月に世界約 140 ヲ国の博物館関係者など、約 3000 人が一同に集う「国際博物館会議（ＩＣＯＭ）」を日本で初めて京都で開催し、その開催記念イベントとして様々な事業を展開する。	事業完了のため

③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進（2 件）

番号	担当局区等	事業名	事業概要	削除理由
144	交通局	100 号系統における「前乗り・後降り」方式の導入	市バス車内の混雑緩和を図るため、100 号系統に「前乗り・後降り」方式を導入する。	経営状況を踏まえた事業見直しにより導入を延期しているため
156	交通局	市バス赤字系統の利用促進	輸送力の増強が難しい中、赤字系統の市バスに一人でも多くの方に乗車いただくため、区役所等と連携してプロジェクトチームを立ち上げ、市バス利用の機運を高める施策を検討し実施する。	全 74 系統のうち 70 系統が赤字（令和 3 年度実績）であり、全体の利用底上げを図る必要があることから、取組を凍結中のため

○プログラム総件数（４４６件）の類型別内訳

１ 重点方針別件数

① 地下鉄・市バスのネットワークを核としたまちづくりの推進	② 観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進	③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進
４４件	２３０件	１７２件

２ 類型別件数

類型	件数	主な取組
施設の整備・誘致	２５件	増客につながる集客施設の整備・誘致
まちづくり・計画策定等	２２件	公共交通利用者の創出に資するまちづくり、増客につながる計画の策定 等
イベント	２２４件	地下鉄・市バス沿線でのイベント開催・参加、イベント等での臨時バスの運行 等
広報・ＰＲ・啓発	１７６件	公共交通機関の利用促進に向けた広報・啓発 等
利便性向上	４４件	交通施設のバリアフリー化、バス待ち環境の向上、時刻表の掲示による啓発 等
乗車券販売・特典付与	３７件	謝礼や賞品への乗車券カードの活用、公共交通利用者への割引特典 等
職員等利用	２１件	市職員・外郭団体職員等への利用促進
その他	７件	上記に分類できないもの

※ 複数の類型に該当する項目は重複してカウントしているため、下記項目の合計件数とは一致しない。

３ 増客の効果別件数

市バス・地下鉄両方の増客に効果がある取組	市バスの増客に効果がある取組	地下鉄の増客に効果がある取組
３３５件	５４件	５７件

4 局区別件数

局区名	件数	局区名	件数
環境政策局	1 4 件	下京区役所	1 3 件
行財政局	6 件	南区役所	1 2 件
総合企画局	1 8 件	右京区役所	7 件
文化市民局	4 6 件	西京区役所	1 1 件
産業観光局	3 0 件	洛西支所	1 1 件
保健福祉局	2 4 件	伏見区役所	1 1 件
子ども若者はぐくみ局	1 5 件	深草支所	1 0 件
都市計画局	2 2 件	醍醐支所	9 件
建設局	1 2 件	消防局	1 6 件
北区役所	1 0 件	交通局	6 3 件
上京区役所	6 件	上下水道局	2 2 件
左京区役所	8 件	教育委員会	1 2 件
中京区役所	6 件	人事委員会	3 件
東山区役所	1 2 件	市会事務局	1 件
山科区役所	2 0 件	合計	4 5 0 件

※ 複数の所管で実施している項目は重複してカウントしているため、アクションプログラムの合計件数とは一致しない。